

物理談話会

(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

【日時】 10月16日(金)14:40~16:10

【場所】 大阪大学理学部本館D棟5階(D501)

発表者： 萩原 政幸 (物理学専攻)

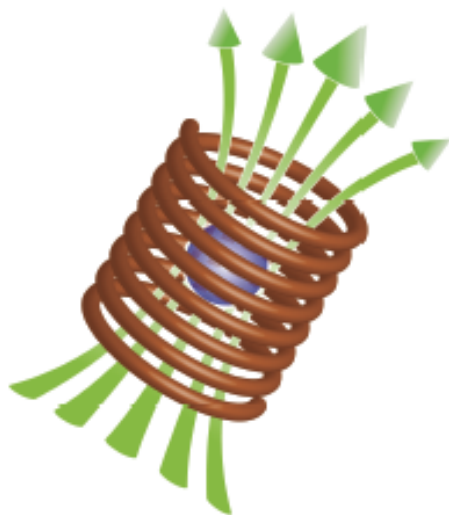
理学研究科附属先端強磁場科学研究センター

タイトル： 強磁場物性科学へのいざない

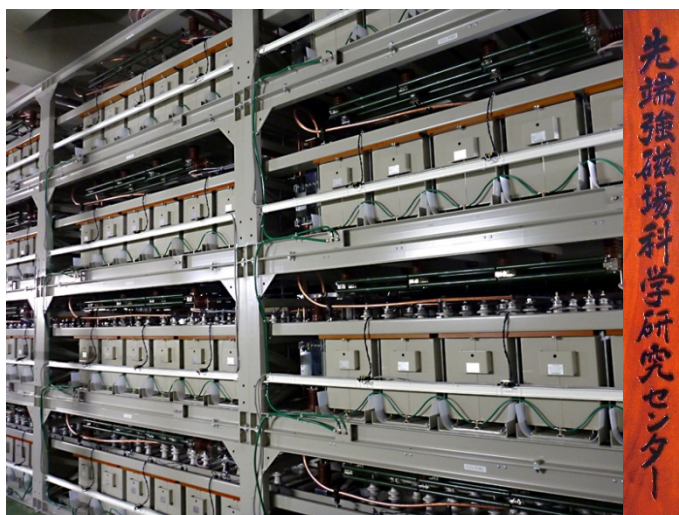


【要旨】

物質の性質(物性)を明らかにするには、外から何らかの刺激を与えて、それに対する応答を調べる(観測)必要があります。外からの刺激、つまり、外部パラメーターとして磁場や圧力などがあり、現代の物性科学はこのパラメーター領域の拡大と共に発展してきたと言えます。我々のセンターでは通常の実験施設では発生させることのできない強い(高い)磁場を発生させることのできる実験施設を有しています。この強い磁場を用いると物性を“調べる”のみならず、“変える”ことができるため、時に面白い現象が現れることがあります。実験施設の紹介と磁場によって現れる面白い現象に関してお話をします。



コイルに大電流を流して強い磁場を発生させている模式図



国内最大規模の大型コンデンサーバンクシステム

物理談話会(先端物理学・宇宙地球科学輪講)

<http://www.phys.sci.osaka-u.ac.jp/ja/grad/rinkou.html>